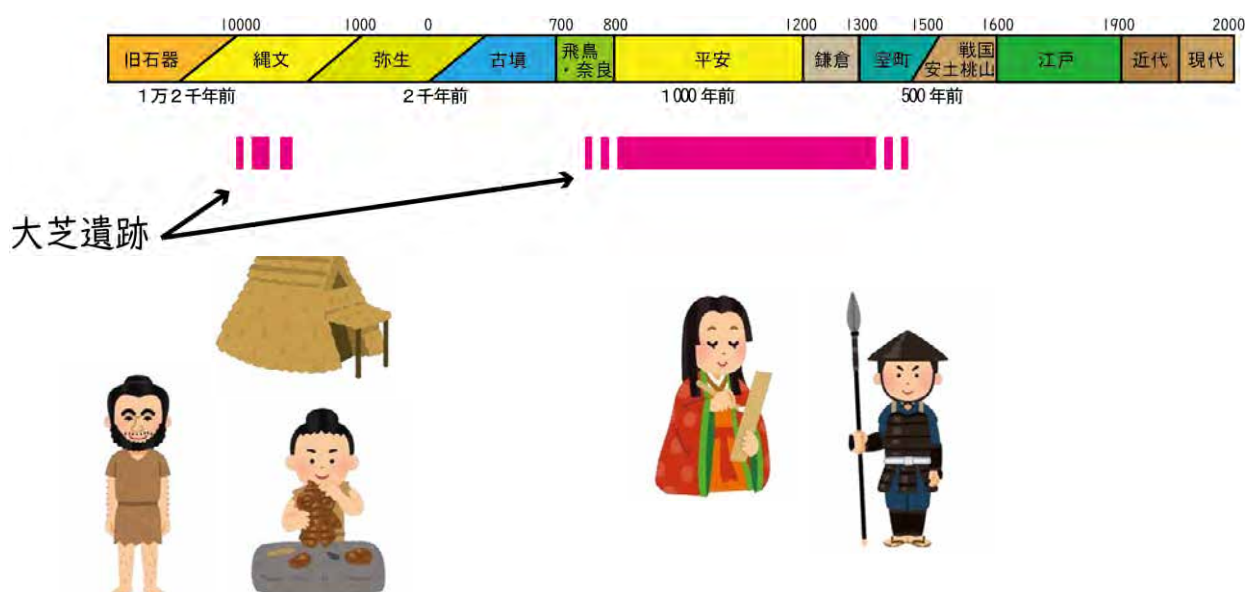


大芝遺跡発掘調査報告会

於：令和7年5月17日（土）
日高川町佐井地区集会場
（公財）和歌山県文化財センター 湊崎

目次

- 01.大芝遺跡の概要
- 02.発掘調査の流れ
- 03.古代から中世の遺構・遺物
- 04.縄文時代の遺構・遺物
- 05.これからの整理作業



3

01.大芝遺跡の概要

大芝遺跡は日高郡日高川町（旧中津村）佐井に所在しており、県下第2位の面積を誇る日高平野に流れ込む日高川の中流域に位置し、大きく蛇行を繰り返す地点の日高川右岸の河岸段丘の一部が縄文時代の散布地として知られている遺跡です。遺跡は南北約320m、東西約160mの範囲に広がっており、周囲には水田が数多く広がります。

昭和40年代に行われた分布調査では昭和28年7月18日に発生した和歌山大水害後の復旧工事において水田地下から石鏃や縄文土器が露出したことが報告されていますが、今回の調査が初の本格的発掘調査となりました。



大芝遺跡航空写真（調査区2、南西から）

4



大芝遺跡の位置と周辺の遺跡

※日高川町全体での埋蔵文化財包蔵地（遺跡）数は82か所
 旧川辺町…43
 旧中津村…26
 旧美山村…13

5



大芝遺跡調査区地割図（日高川町提供地図に加筆）

今回の大芝遺跡の発掘調査は県営中山間総合整備事業佐井地区ほ場整備事業に先立って行われました。

調査は令和6年5月から令和7年3月まで行われ、調査の途中で中世の遺構が掘り込まれる土層の下に、縄文時代の遺構・遺物を新たに確認し、調査を実施したため、最終的な調査面積は13,284.1㎡です。発掘調査は、調査区を大きく1～4つに大きく分けて、調査区1から順次行っていました。

今回の調査で確認した遺構の数は総数2,000を超えています。

6

02.発掘調査の流れ

発掘調査では「遺構（いこう）」と「遺物（いぶつ）」という言葉をよく使います。

- ・**遺構**…建物の跡や溝、墓、穴など、昔の人によって作られたものの中で、特に動かすことができないもの。
- ・**遺物**…土器や石器、木製品や鉄器など、昔の人々が作り出したもので、基本的に持ち運ぶことができるもの。
- ・**遺跡**…遺構や遺物が一体となって、昔の人々の生活や活動の手がかりが残っているもの。



遺構（白線部分）



遺物

7



機械掘削



人力掘削



遺構実測



ドローンなどの航空写真測量



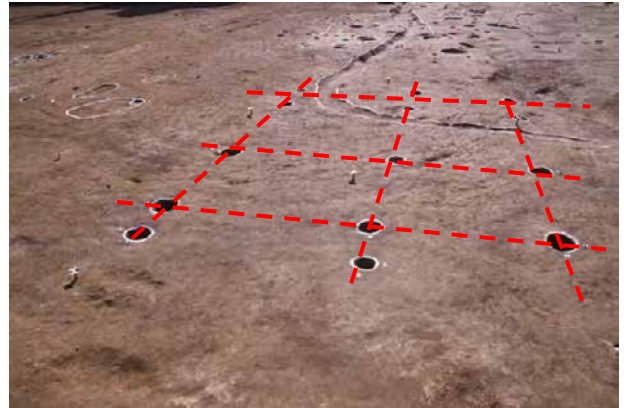
高所作業車を使った写真撮影

03.古代から中世 の遺構・遺物

古代から中世の遺構・遺物は調査区1～4のほぼ全てで確認しました。ただし、遺構がより多く位置しているのは調査区2～4で、特に掘立柱建物跡や土壌墓、溝などが数多く確認できました。

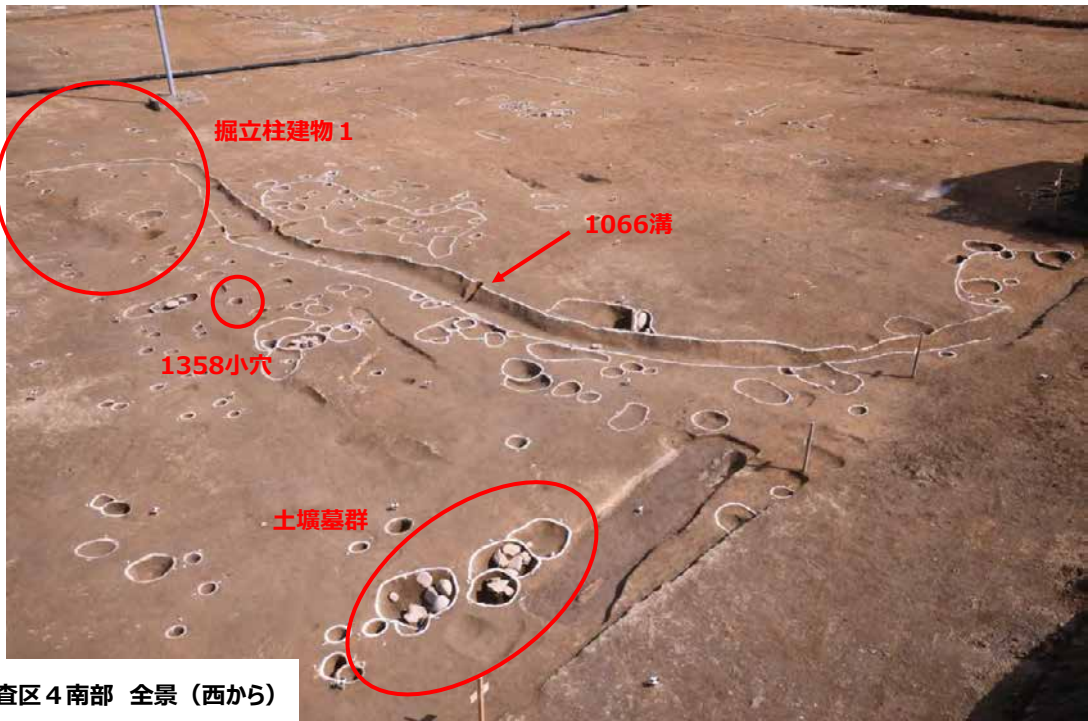


遺構1358から出土した中国製白磁碗
と備前焼（壺か）の破片



調査区4 掘立柱建物跡1（北東から）
※柱穴が一直線に並んでいる

9



調査区4南部 全景（西から）

10



調査区2 全景（北から）

224 (481) 溝 中世の溝
（南東から）



2 - 1 区北部完掘状況
（北西から）
※赤丸が中世の土壌墓群

374土壌墓 石出土状況
（北東から）





381土墳墓から出土した短刀
(今年度保存処理中)



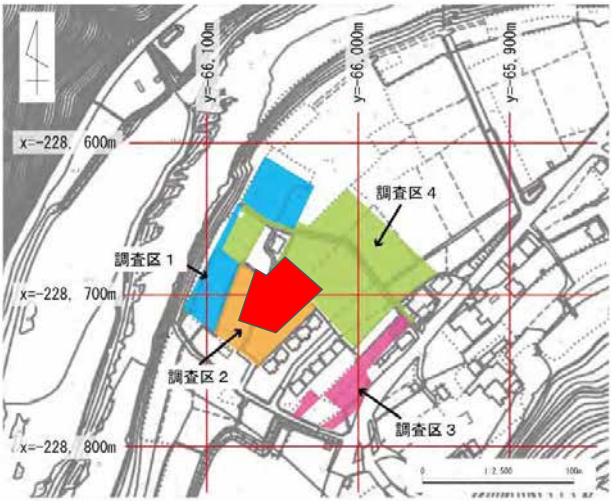
381土墳墓 石出土状況
(北から)

13

04.縄文時代の遺構・遺物

縄文時代の遺構・遺物は調査区2と4の一部で確認しました。出土した土器から縄文時代後期（約4,400年前）ごろ、大芝遺跡に集落が営まれていたことが分かりました。

確認された竪穴建物跡は19棟（今後更に増える可能性が高い）で、和歌山県で発掘調査された縄文時代の集落の中では最多となります。



縄文時代の遺構が見つかった範囲

14

調査区 2 縄文時代の竪穴建物跡群（上空から）



15

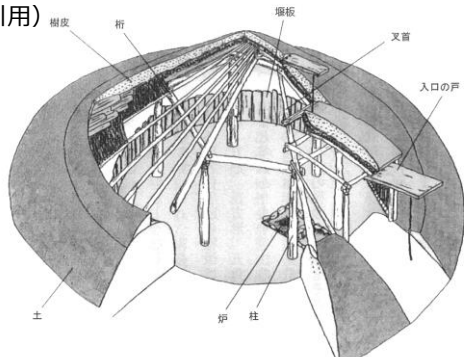
調査区 2 縄文時代の竪穴建物跡群（北東から）



16

縄文時代の竪穴建物復元図

「Q & Aで読む縄文時代入門」2024 吉川弘文館
P67 より引用)



縄文時代の竪穴建物復元 (青森県三内丸山遺跡)



17



大芝遺跡で出土した縄文土器



大芝遺跡で出土した石器



18



縄文時代後期の土器

(和歌山県東牟婁郡北山村 下尾井遺跡)

「よみがえる和歌山の縄文世界 人・暮らし・祈り」2010
和歌山市立博物館 P71より引用



注口土器 (青森県風張 I 遺跡)



やじりの装着方法復元 (岩手県御所野縄文公園)¹⁹

05.これからの整理作業

出土した遺物は収納用コンテナ
(28L) 120箱に及びます。

現在、全ての遺物を水洗いし、どの
ような遺物が出土しているのかを1点
1点登録・確認しています。

また、科学的な保存処理を行う鉄器
は実測や写真撮影を先に行っています。



出土遺物水洗



遺物実測 (鉄器)



ありがとうございました

大芝遺跡で出土した遺物や記録した図面・写真は令和 7・8 年の2年をかけて整理し、発掘調査報告書を刊行する予定です。

整理作業の中で新たな発見があるかもしれません。

みなさまにまたそれらをご報告できる機会が持てるよう、整理作業を進めていきます。

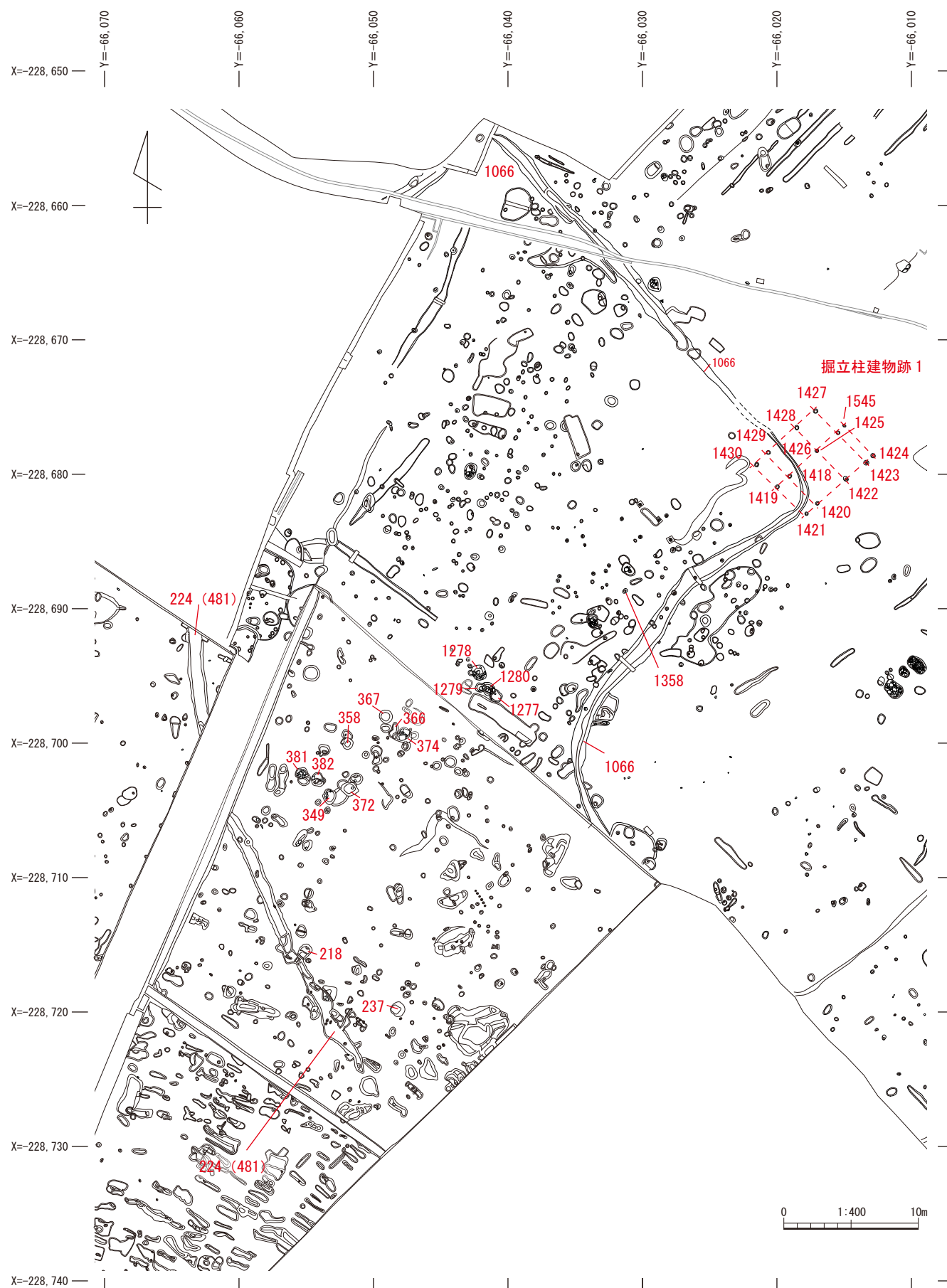


図 1 大芝遺跡調査区 2・4 (一部) 遺構配置図



図2 大芝遺跡調査区2 縄文時代の竪穴建物跡配置図